

建コン協九州の夢アイデア交流会



建設コンサルタント協会九州支部（福岡宏治支部長）は8日、福岡市の天神スカイホールで「夢アイデア交流会2018」を開いた。応募作品53点の中から最優秀賞に吉武やよいさんの「豚で孝（耕）行、荒地地を豊地へ」を選び、福島支

最優秀に吉武さん

部長が表彰状を手渡した。写真。

夢アイデア募集は16回目を迎え、応募作品は累計おおよそ800点に上る。今回は、北海道から鹿児島県まで、老若男女問わず幅広い世代からの応募があり、当日は1次審査を通過した10組がプレゼンテーションを実施した。

冒頭、福島支部長は「閉そく感のあった日本をもう一度夢を持って元気にしたい、九州から新しい風を吹かせたいという思いで有志でスタートした年末の風物詩となった。夢が大きく膨らんでブレイクスルーして、大きな形となることを願っている」とあいさつした。

最優秀賞の吉武さんは、耕作放棄地で黒豚を放牧し、耕作地にする提案をマングを交えて説明した。遠方や高齢などを理由に管理が難しい人の手助けとなり、鹿児島島のブランドイメージもアップするといふメリットを挙げた。耕作地にはサツマイモを植え、子どもたちに農業体験を促し、食育につなげるとした。

講評で玉川孝道審査委員長は、「多様性があり、選ぶのは大変だった。作品の多くは自然災害や社会問題に直面し、悩み、アイデアにつなげた。それぞれの思いをめぐらせた状況が目に

浮かび、素晴らしいと思った」と好評した。

このほか18年度の夢アイデア提案受賞作品と提案者は次のとおり（敬称略）。

〈優秀賞〉
▽おとしよといっしょに温泉で町づくり（山下あゆみ）
▽新型大学生生居住宅群―自然と人間の共生 農業と都市の結合（辛証謙）
▽敷地境界線と塀の関係の再考（山田寛）

〈佳作〉
▽大きな公園と小さなマチー保育所と児童センターの新しい形―（椎橋亮ほか）
▽「みち」を「まち」にとりもどす（鉄川進）
▽都市計画を学ぶ都市計画シミュレーションボードゲームの作成（猪原千尋）
▽地域に根ざし、地域を愛し、地域の宝を見つける「キッズ歴史探検隊」（GARAKU）
▽夜の図書館 図書館に泊まるっ柴田好美
▽子どもたちの好きな野菜でトッピング料理大会―味覚の伝統と健康を守る街づくり―（緒方祥之ほか）。